

## アンケート調査の答え（まとめ）

### プログラムからどのような影響を受けましたか？

その他 5/34 (15%)

1. 視野が広がった
2. 自分の人生で自分が何をしたいのか、何が出来るのかを毎日真剣に、自然に、考えるようになった。
3. 経験がありません
4. 震災の事を考えたり思い出すことに、少し前向きになった。震災に対する自分の考え等を少し話せるようになった
5. 他のプログラムに積極的に参加するようになった。

### 今どのお気持ちですか？

その他 7/52 (13%)

1. 先日は熊本でも震災があり、国民全体として防災、減災、助け合いへ取り組んでいくべきだと考えます。
2. 将来はもちろん東北の被災地に関わり続けたいと思っている。しかし、自分が社会に出ることになるあと3年ほど後の被災地の状況が全く想像できないし、どんな関わり方があるのかもわからない。そんな中で「自分の将来のビジョンはなにか？」という質問をされても、うまく言えず、大人たちに首を傾げられることがもどかしい。
3. 東北のパワーに自らなりたい。
4. 当時の惨状は、今でも昨日のように思い出すことができます。不謹慎ではありますが、あの経験がなければ、防災意識を強く持てなかったと思うので、価値のある経験だったと感じています。
5. 今でも震災のせいで人生変わったと思うがなるべくそういうマイナスな考えから抜け出したい
6. 辛い
7. 東北には知り合いもいないので、自分のこととして受け止められない。世間では良く特集されているが、自分の事情に精一杯で東北のことを考えることはない。薄情だと思いつつも学生の自分では金銭的支援は出来ないし

### これからどのような活動を望んでいますか？

1. まず、仮設住宅をやむを得ず使用している方々にちゃんとした家を提供していただければと思う。
2. 孤立させないコミュニティづくり
3. 20年、30年後、40年後の被災地のことまでしっかり責任を持てるような若い世代がもっと復興活動や地元活動に参加するべき。外部からその町に解決策を提案するのではなく、その町の課題をその町の人と寄り添い、一緒に解決策を考え実行していくべき。官・民・みんなが一緒になって話し合い知識を出していくような話し合いの機会、場所がそれぞれの地域には必要。いかに町に若者を引き寄せるか、若者を帰ってこさせるか、その工夫が必要。
4. もっと日本国民全体、外国の方々に、被災地の現状や、地震の恐ろしさを知ってもらう機会が必要だと思う。
5. 被災地の商業の活性化、観光地の活性化

6. 福島の風評被害がひどい。子供なんて住んでいないんじゃない？福島に引越ししないで、など。放射線の影響に関して情報があいまいなため、きちんと真実を広め、対処してほしい。
7. もっと、人々が震災について考えるような機会の提供をしてほしい。
8. 東北を中心としたイベント！
9. 支援はもちろんのこと、どうすれば被災地が自立していけるのかを考えて欲しい。
10. もっと沢山の人が「気軽」に東北の方々の復興に参加できるモノがあれば良いと思う
11. 現状維持で良いと思う。政府は十分頑張ってくれていると思う。
12. これからは、被災地での生活再建を目指しながら、いかに被災地に住んでもらうかってことが必要だと思う。
13. オリンピックより、被災地の復興に向けた予算編成。
14. 政府には被災者の方が納得いくような行動をとってほしい。
15. 被災地で育てられた野菜や魚などの風評被害について学んだり、理解してもらったりできるような場を設けてほしいです。
16. もっと東北に日本のみならず世界中から人が来て交流が増えることを望みます。そのような活動や動きがあってほしいし、作りたと思っています。
17. いま、東北に必要なことをもっと積極的に発信してほしい。
18. ぱっと思いついたことですが、復興という響きだとどうしても、「マイナスからゼロへ」という印象があります。あらたに東北の魅力を生み出す「ゼロからプラスへ」をテーマにした活動が増えるといいと思います。
19. 震災後、海外に避難したまま日本に帰りづらい人のために海外から東北に戻りやすくしてほしい
20. 被災地から離れているのであまり詳しいことは言えないです。
21. "一時的、期間の限られた支援ではなく、先に見える継続的な支援をしてほしい。
22. 行方不明者捜索の継続。
23. 地元の人が、自ら地域の復興に関わってほしい。"
24. ボランティアをするための資金がほしい。また、ニーズを知りたい。
25. 被災者だけでなく、震災に携わった人へのメンタルケア
26. 学生へのプロジェクト支援
27. 無駄な税金をどこかにつぎ込むより被災地の支援に使って下さい。
28. 他の地域に知ってもらう活動。
29. "若者の行動を促し、手助けする活動。
30. 年齢層問わず、全世代が
31. 協力して未来を考える場の提供"
32. 一般のボランティアが参加出来るようなプログラムをもっと広く募集して欲しい
33. 復興の程度に差があるように感じるので、遅れている部分を早く進めてほしい。
34. 私たちの経験から得た教訓をもっと生かしたい。特に、南海トラフでの被害が想定されている地域と連携したい。
35. 他の県の人たちに、もっと現状を知って欲しい
36. 除染
37. 金銭的補助が不可欠。土地や家がなくなった人への補助。若者がいない街の復興。産学協参のプロジェクト。原発廃止
38. ただやみくもに義援金や財源を使うのではなく、必要としている人々に正しくお金がわたるようにしてほしい。今でも仮設住宅生活を強いられている方々への支援、将来の保証、また、仮設住宅暮らし以外の方々にもしっかりと継続した支援を行ってほしい。

39. 震災を忘れないための取り組みや活動・イベントをどんな形でもいいからやってほしい。
40. 詳しい現状が知りたい。
41. "他人事にはなってしまうようですが、被災地の方が本当に困っていることを知る機会があったら、間接的にでも支援しやすいなと思います。
42. 必ずしも、募金したお金が本当に困っている人の本当に困っていることのために使われているかはわかりにくいです。本当に困っていることに従事できたら、喜んでやりたいなと思います。"

#### これからあなたはどのように東北と関わっていきたいですか？

1. 東北地方へ訪れて、いいところを発信していきたい。
2. まだ、しっかりとボランティアなどで貢献できなかったことがないから、今後自分の出来ることで貢献していきたい。
3. 将来どんな形であっても、東北とは何かしらのかかわりを持っていたい。どんなに復興の進行度に差が出てしまっても、最後までひとやまちに寄り添う存在である。まずはいまお世話になっている女川町では、どのようにして女川のひとが街づくりを進めてきて、今後どうしたいのかを見て聞いて感じて、自分なりに感じた思いや課題を形にしていきたい。そしてそこで学んだことや起こした行動をもとに、志津川でも女川に負けないくらいの魅力的なまちを町民と共につくっていききたい。田舎出身の若者に、彼ら自身の町に愛着を持って好きになってもらえるように、大人と若者をつなげたい。
4. 東北はもう危険な場所ではないということを知ってもらおう活動をしたい。
5. 東北の商品を消費し、経済復興を促したい。
6. 小学校教師になって、東北の子どもたちに震災の記憶を伝えていきたい
7. 放射能について調べ、福島の良いイメージを払拭したい。
8. 震災を知らない世代に伝えていきたい。
9. 公務員として東北で働き、いまの東北をよりよく、よりみんなが好きって思えるような街にしていきたい。
10. 宮城を面白く、東北に住みたいと思ってもらえるような取り組み
11. 東北で仕事に就き、子供達に色々なことを教えていきたい。
12. 旅行や観光する事で関わっていきたい
13. 東北の良いところを伝えていきたい。
14. 医療分野で東北と関わっていきたい。
15. 歴史を含めて、郷土愛を育めるような情報発信。
16. 東北の過疎化が進んでいる地域を活性化させたい。
17. 東北の食べ物をアピールしていきたいです。
18. 自分が、福島や東北と世界とを結ぶ役割を担う人になりたいと思っています。
19. 東北を盛り上げたい
20. "「被災地」の東北。というイメージを無くすために、本来の東北の良さを見つめ直していきたい。"
21. 独自の支援をしていきたい
22. "例に挙げられている、イメージをよくする活動というのは必要ないと思います。東北の外にいる人が、東北に魅力を感じる事が最終的な目標ではないと思うので。(あくまで個人的な意見ですが)
23. 東北に実際に来た人が、この地域のためになにかしたい。この土地ですっと過ごしていきたいと感じるような活動をしていきたいです"

24. 東北のよさをアピールしたい
25. 東北の良さをアピールしていきたい。東京の友人には頻繁に伝えている。
26. 石巻の被災地というイメージよりも、もっと素敵なお所というところを広めたい。
27. いつか東日本大震災と、またその復興が進み東北が元気で良いところだということ発信できたらいいなと思う。
28. 東北を発展できるような活動をしてみたい。
29. 東北の観光業を発展させてる事に従事していきたい
30. 東北に意識的に足を運びたい。
31. 東北に観光客を呼びたい。
32. 東北をはじめとする地方の活性化
33. 震災が風化しないように、自分の足で被災地を訪れ、周りの人にシェアしていきたい。
34. できれば東北で就職して暮らしたい。
35. なんらかの形で関わり続けていきたい。
36. 東北に限った話ではないが、災害時前線で活躍できるよう、DMATの講習を受けたり専門看護師の資格を取るなどして、災害看護に特化した看護師になりたい。
37. 忘れないでいたい
38. 帰省をしたい。
39. 東北の資源アピール、観光地アピール。
40. 旅行で訪れたり、またボランティア活動をしたりしに行きたい。
41. 東北を震災前以上に盛り上げたい
42. 東北=震災という暗いイメージしか取ってもらえないから、明るいイメージを取り戻したい
43. 風評評価をなくすこと、経済から復興を促進していくために、民間企業からアプローチしていきたい。
44. "自分で行っている活動もあるので、正直直接的な支援に行くことは結構難しいです。間接的にでも関われる方法があったらそれを見つけていきたいと思います。"

今年4月14日の熊本地震の後の、あなたの行動や政府の対応などについて何かお考えがありますか？

1. 今までにない震度7という地震が起き、未だに地震が続いているので政府も対応に悩むかもしれないが、二次災害が無い分早急に復興に向かえるように対応して欲しい。
2. 日本のどこでも地震は起こりうるから、耐震工事の助成を進めるべきです。
3. ボランティアの振り分け方や支援物資の送り方などにおいて、東日本大震災の教訓が生かされているなど感じる部分と、なぜ同じ失敗をしているのか？と思うところと半々である。ただツイッターなどのSNS上で、東北の震災を経験した人が、あの時に得た教訓をポストしてみんなにシェアしたりしているのを見ると、やはり私たちにとって震災とは忘れてしまうものなのではなく、いざほかのところで同じ災害が起こった時には自然にみんなで助け合いをすることになるのだな、と感じた。私自身は熊本地震に関しては何も行動を起こせていません。起こしたい気持ちでいっぱいなのですが、それ以上にあの日自分が体験した恐怖がフラッシュバックしてきて、怖くてニュースすら直視できないからです。
4. 5年前に東北を支えてくれたお返しとして、東北からもたくさん熊本に支援がいったということを知り、支え合うことの大切さ、素晴らしさを実感した。
5. 津波被害などとは違い、地震被害における迅速な対応がもっとあればよかったと思う。

6. ディーマットや赤十字など、医療派遣が多く良かった。私も参加したかった。
7. テレビを見ないのでニュースなどはわからないが、facebook で見ていて本当に色々な人たちが自分から動こうとしていた姿が印象的だった。東日本大震災のときのように、みんなが助けようって気持ちが伝わってきた。
8. 震災直後の東北のボランティアに行けなかったのが、熊本には行きたいと思っている素早い判断力が求められると思うので、情報を的確に入手し、行動に移してもらえればと思う。
9. 募金活動をあちこちでやっていたので少しだが募金した。東北地震の時は高校生で出来なかったのが出来てよかった。
10. 政府は十分頑張ってくれていると思う。
11. "義援金を寄付したこと。この行動にでたのは、5年前に助けてもらったので、その恩を返したいと思った。政府は、東日本大震災を基準として考えているため、対応が遅いなと感じることがある。"
12. "募金。"
13. 東北の被災地の行政のノウハウを積極的に活用すべき。ボランティアの受け入れや、支援の在り方など、民の力も取り入れるべき。"
14. 車中泊による死者が出ているのにも関わらず、政府は対策を検討するだけで明確な対策を打てていない。
15. "ボランティアの需要と供給が合っておらず、行政がボランティアの配置をうまくできていなかったように思います。また、各地から送られる支援物資の送付方法の確立もこれからの課題であると感じました。"
16. 自らアクションは起こしませんでした。ニュースでよく情報を頻繁にチェックしていました。また友人が現地入りしボランティア年活躍している姿を Facebook でみかけ、非常に頼もしく思えました。
17. なにもできないが募金はした
18. 仮設住宅に簡易仕切りを設置した。プライベートを守ってほしい。
19. "震災を知った当初は「よくある地震」のように捉えていて、大きな被害があることもあまり重く受け止めていなかった。実際に自分との距離がある場所で大震災が起きて初めて、体感しない立場の気持ちを知った。"
20. 政府の対応としては、プライオリティをもっと考えたほうが良いと思いました。震災という予測不可能な事態が起こった時に、どのように優先度を再設定して、どれくらいの人員を割くのか、改めて考え直す必要があると思います。
21. 家族問題など扱いにくい問題に積極的に取り組むべき 精神的ダメージが大きいので、その支援が必要だと思う
22. 今はまだ何もできていないが、募金をしたり、時間さえあればボランティアにも行きたい。政府はもっと効率の良い物資の支給法など考えるべきであった。無駄が多すぎる。
23. 詳しくは分からないが、早め早めの対応をしてほしいと思いました。
24. できるだけニュースをみて、友達と話、なにかできないかと考えていました。もっと詳しい情報がもらえたり、東北から熊本へ遠くても行きたいという学生をボランティアへ行かせる仕組みがほしい。
25. 募金しました
26. 世間の人々が震災に対して一過性すぎることに對して憤りを覚えます。義援金にしる、物資にしる、日頃から準備をしておけば、混乱もある程度は防げるものを、もう少し長い目で捉えて欲しいと感じます。
27. ボランティアに参加したいが遠くて難しいので、代わりに募金するようにしている。

28. 防げる問題があったのではないかと思う
29. 今回はボランティアを酷く悪く言う場面をよく見かける。それでは本当に必要な時に怖気づき、ボランティアが来なくなってしまう。言葉を安易に捉える人間が多いと感じる。東日本大震災のときは、確かにボランティアに不満を感じたこともあったが、ボランティアに来てくれた人たちがいなければ、ここまで立ち直れなかつただろう。善意が善意のまま動く世の中であって欲しい。
30. 絶対にこないということはない、ということがわかりました
31. 対応が遅い。判断も遅い。
32. 実家は熊本県南阿蘇村立野地区に位置し、今回最も被害が大きかった場所のひとつだった。家にはもう家族は住むことができない状態で、地震後家族と連絡もまともに取れず不安な日々が続いた。現在私が留学中ということもあって、何もできない自分の無力さを痛感した。しかし、その状況の中で改めて家族の大切さ、命について考える機会となった。何か自分にできることはないかと考え、Facebookで熊本県の義援金やボランティア募集について情報を拡散するように努めた。
33. 自然気候の影響もあるが、対応が東北の時ほど早くない気がする
34. 大きな震災なのに注視されていないこと
35. 大学で熊本地震での正しい募金先の情報拡散。
36. 特にありません。

#### 若い世代（中学生、高校生など）に向けて何か言いたいことがありますか？

1. 僕達の世代もそうだけど、震災による精神的な傷も町の被害も立て直していくには協力が必要だから、被災地ではないから関係ないじゃなくて自分に何が出来るのかを考えてみて欲しい。
2. みなさんの将来のビジョンの中には、『自分の地元で働く』という選択肢はありますか？別に、「都会に出ずに地元に残って働きなさい」と言いたいわけではありません。でも、私たちの地元には、とっても面白いことをしている、しようとしている大人たちが実はたくさんいます。そんな素敵な大人たちの存在に興味を持ってみてください。本当に田舎には魅力がありませんか？面白いのは本当に都会だけですか？若い学生のうちに自分で興味の限界を決めずに様々なことに是非飛び込んでみてください。いろいろな人生を送っている大人と今のうちに会っておくことで、将来大学や社会に出た時に、自分の将来のことを考えるのが本当になりますよ。自分の将来の選択肢を広げられるのはまさに今の年齢です。とにかくとにかくなんでも好きなことにチャレンジするのがいいです！！私自身の体験談なので自信を持って言えることです
3. もっと日頃から家族と過ごす時間を大切にしてほしい。
4. 被災地の観光地などにたくさん遊びに行っていて欲しい
5. 海外に出て、日本の代表として行動したことで私は考え方が変わりました。ぜひ世界を自分の目で見てください。
6. 自分が知りたいことをできる範囲で調べてみてほしい。
7. 震災のときのことを語り、伝えていくこと、みんなで考えることは決して恥ずかしいことではない。
8. もっと夢を見ろよ
9. 震災を忘れないで欲しい。
10. 自分が言えることは特に無いです。
11. 特にありません。強いて言うならば、いろんな事に挑戦して自分らしく生きてください。

12. 東日本大震災のときの経験は、とても辛い経験の1つかもしいないが、一年に一回は当時を振り返ってほしい。
13. 行動せよ。
14. もし海外で震災のことを伝える機会があるならば、当時の様子、そして現在の様子との方向から伝えてほしい。
15. 熊本の地震があり色々な意味で他人事では無い、忘れていた危機感を南の方達はもちろん全国の人が思い出したと思う。この二つの震災をよくよく忘れないよう自分で何か形にしておくべき。
16. 震災を他人事と捉えずに、学ぶ機会を自分から作っていくと良いと思います。
17. 自分の想いを何かのアクションに繋げて欲しいと思っています。
18. 視野を広く
19. 未来の日本や東北をつくるのは、いまの若い世代であるということ。もっとパワーをもって、いまに向き合ってほしい。
20. "東北を、熊本を、日本を。変えていくのは、いつだって若い人である。ということ。"
21. 「地震は危険だ。対策をしっかりしよう。」正直言葉で言われても実感がわかないと思います。ですが、敢えて言うと、「地震は危険です」
22. 積極的に海外に発信したり、地域のお手伝いをしたらいいと思う
23. 忘れないでほしい。必ずあなたたちも経験する時がくると思う。辛い思いをしていい人などいないから。経験を生かしてほしい。
24. ありません。
25. 災害を甘く見ないでほしい。周りの人、人との出会いを大切にしてほしい。地元について考える、触れる機会を持ってほしい。
26. 勉強しましょう。
27. 被災地に行ってみてください。
28. 他人事が一番危険。
29. 発信すれば何かが、変わる。
30. もっと身近に感じて、明日はわが身の精神で真剣に考えて欲しい。
31. 特になし。
32. 当事者意識を持っておくべきである
33. 今見えるもの、匂い、音、感触をしっかりと記憶に焼きつけていて欲しい。人間にできることは思っている以上に小さい。でも、人間は学ぶことができる。勉強、恋愛、運動、お金…何事にも貪欲に、自分の人生を歩んでいて欲しい。たとえ何か大切なものを奪われたとしても、失った以上のかけがえのないものを手に入れられると思う。
34. 君たちの考えが変われば日本は変わるってこと
35. 上世代からの教育に負けず、自分で考える力をつけて。日本から外へ出ることが重要。
36. 若いうちにできること、したいことを思う存分やってほしい。それから今はその大きさに気づけないかもしれないが、勉強はしっかりやっておこう。何か自分の興味をそそるものとはことん調べて学ぼう。知識は一生ものだから。それから、失敗を恐れて挑戦しないのは絶対にダメ。部活でも勉強でも挑戦しなければ何も成長できない。 **play hard, work hard**
37. 震災は辛い体験だったけど、後世に語り継ぐべき大事な経験であることを忘れてはいけない。助けてもらうのは当たり前ではないから、助けに感謝することを大事にしてほしい。
38. 日本の社会情勢について浅く広くではなく、深く知る必要があると思う。特に、人の気持ちについて、震災時は繊細になっていることをもっと知るべき。

39. 人を助けたいと思う気持ちはとてもいいなと思います。